

第8回 JCHO 高岡ふしき病院地域協議会

日時 平成31年 2月 7日 (木) 16時00分
場所 JCHO 高岡ふしき病院2階会議室
各委員 医師会：高岡市医師会幹事 たみの医院長 民野 均
(代理)
行政：高岡市福祉保健部健康増進課副主幹 土屋 安津子
地域：元伏木校下自治会連絡協議会 副会長 大黒 幸雄
病院：高岡ふしき病院 院長 高嶋 修太郎
同 副院長 宮崎 幹也
同 副院長 和田 攻
同 総看護師長 田井 雅代
同 事務長 木下 敦士

内 容

高嶋院長により、第8回地域協議会開催の挨拶を行い、協議会の開催趣旨（独立行政法人地域医療機能推進機構協議会設置要綱第5条）により、高嶋院長が議長となり議事に入った。

議 事

- 1、地域協議会の目的及び運営実績と運営方針、在宅支援の取組み、今後の当院の役割を、高嶋院長より説明した。
 - (1) JCHO の第2期中期目標における当院に関連する指標について
 - (2) 「高岡ふしき地域包括ケア講座」（仮称）開設の企画書について
- 2、各委員からの意見

高嶋院長

当院へのご要望、ご意見は如何でしょうか。

民野委員（高岡市医師会監事）

健康管理センターの名称についてお伺いしたいのですが、JCHO（ジェイコー）という名称が最初につくのですか。

木下事務長

病院事業の中の一つですので、名称として JCHO 高岡ふしき病院健康管理センターです。

民野委員（高岡市医師会監事）

患者さんに、JCHO（ジェイコー）病院へ健診に行ってくださいと言うと、それはどこですかと言われる。以前の社会保険病院ですよと言うと納得されます。

一般の方に名前が浸透する方法は何かないですか。

宮崎副院長

特にバス健診の方が、JCHO（ジェイコー）という名称が分からないのではないですか。当院へ健診に来られる方は分かると思います。健診票等の案内だけでは分かりづらいと思います。

大黒委員（元伏木校下自治会連絡協議会副会長）

ネーミングは簡略した方が、住民の方にも覚えやすいと思います。

民野委員（高岡市医師会監事）

他の病院でもありますが、私どもが説明する時に JCHO（ジェイコー）と言いますと首を傾げられるので、もう少し広報していただけるとありがたいのですが。

高嶋院長

JCHO（ジェイコー）組織として取り組んでいますので、名称等の周知は努力していきます。ご理解いただきたい。

民野委員（高岡市医師会監事）

地域包括ケアのことですが、医師会との兼ね合いはどうされるのですか。

高嶋院長

高岡地域に居住している人を対象にしています。

地域包括ケアシステムは、高岡市の 11 箇所それぞれ地域ごとの中で考えています。

各地域で実施されていますが、統一されていません。取り敢えず、伏木地域で実施をしていきたいと考えています。

大黒委員（元伏木校下自治会連絡協議会副会長）

伏木地区というと、スケールが小さいような気がしますが。

高嶋院長

地域の方をケアするのが目的です。

伏木地区のみではなく、隣接地域の方が参加されても拒否するものではありません。

大黒委員（元伏木校下自治会連絡協議会副会長）

伏木地区というより、何か他に良い呼び方があれば良いのですが。

高嶋院長

伏木地区だけではなく、伏木地域ということをご理解いただきたい。

民野委員（高岡市医師会監事）

高岡市を 11 箇所に分けて、行政の仕事の分担をしていることです。

大黒委員（元伏木校下自治会連絡協議会副会長）

ふしき病院として、もっと大きく広くしても良いと考えますが。

高嶋院長

行政、病院、社会福祉協議会、地域包括支援センター、開業医の先生方、住民の方それぞれが実施されています。名称について考えていきたい。

和田副院長

ネーミングで地域という言葉ですと限定してしまいますので、考えていただけたら良いと思います。

高嶋院長

地域を限定するものではありません。そこを中心にしていくということを理解していただきたい。

また、健康講座等職員が伏木地区で実施していることを、地域で行えば各会場が満席となり、当院のアピール、住民サービスに繋がり、一体化して効率に行うとの提案です。

高嶋院長

他に何かご意見がございませんか。

民野委員（高岡市医師会監事）

講演会等を一般の方にされるのは、大変良い事だと思います。

土屋委員（高岡市福祉保健部健康増進課副主幹）

高岡市でも、包括支援システムを各 11 箇所の地域包括支援センターで実施していますが、どこもそれぞれ同じようなことをやっているよりも、纏めることは効率的と考えます。

高齢化社会になり、担い手不足となっています。いくつもの役割を持っていて、お互いの負担となっています。

今後、どのように進めて行こうか検討をしている状況の中で、新しい事を実施していただけるのは大変良い事とだと思います。

また、ふしき病院さんには健診等のマンパワーがあり、いろいろ対応していただき、感謝申し上げます。

大黒委員（元伏木校下自治会連絡協議会副会長）

ふしき病院が地域での活動を沢山しておられることを余り知られていないと思いますので、住民に対して広報の方法を考えていただいた方が良いと思います。

高嶋院長

伏木、太田地区の公民館等で講師を派遣しております。

基本は、住民の方の主体的に生活をしていただくのが地域包括支援システムであり、それを補助するのが行政、医療機関等で、それを啓発して行こうというのが目的です。

高嶋院長

全体を通して何かご意見ございますか。

宮崎副院長

地域包括システムは、高岡市でも具体化するのには時間が掛っています。その中で伏木地区から始められてうまくいけば、他の地区へ広げて行くきっかけになればと期待しております。

田井総看護師長

地域の方々に対しての教育、研修等をするにあたり、情報収集をしていかなければならないと考えております。

各認定看護師、保健師等を活用して行きたいと思っております。

是非、地域からのご意見をお聞かせいただきますようよろしくお願いいたします。

高嶋院長

当院は地域を目指した病院ですので、JCHO 高岡ふしき病院を今後ともアピールして行きたいと思っております。ご支援よろしくお願いいたします。

これをもちまして地域協議会を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

